

新商品

「極み逸品 高知えのき茸」



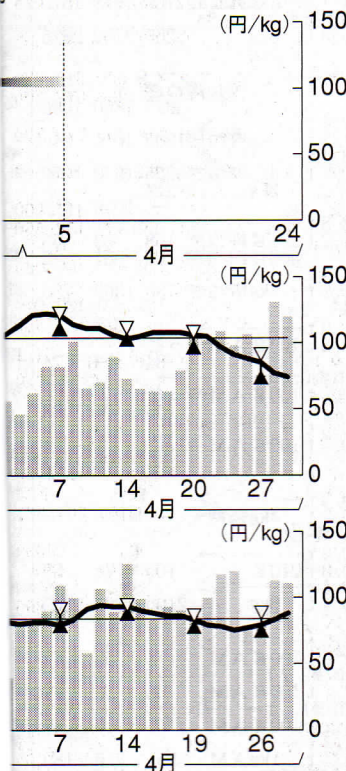
消費不況でも一般品より2、3割高い価格で販売するエノキタケがある。横田きのこ(高知市)の「極み逸品 高知えのき茸」(たけ12で、しゃきしゃきした食感と、えぐ味がなく生でサラダにも

食感良くサラダでも

「市場を維持し、品質を誇るために、価格を落とさず

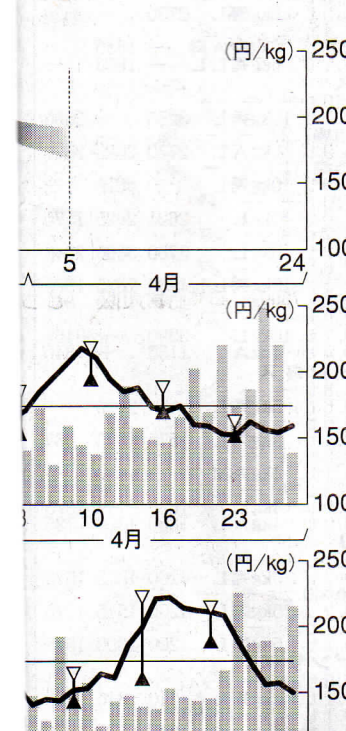
04年に特許も取った。通年で400ト以上を出荷してきた。昨年夏は消費不況のため生産調整をし、出荷量は前年比約1割減の380トだったが、今年は450トを目標にする。栽培瓶の口径を広げて大きく育て、生産量を前年より2割ほど増やす計画だ。7割を徳島県に、3割を首都圏と関西、沖縄に出荷する。首都圏では百貨店の

使える点特徴だ。同社は2002年、他産地との差別化を図るため室戸の海洋深層水を使いエノキタケ栽培を始めた。これにより、従来の栽培に比べてカルシウムが2・6倍、甘味の基となるグリセロールが1・5倍と、栄養分が豊富になった。栽培方式は横田きのこの横田慎二代表は「09年の売上高は前年から約2000万円減の1億円」と語り、



やや生育遅れ。神奈、相場はやや上向きの離島物は、雨で掘は維持するものの、相場は下げに転じを加工、木曜日掲載) 高値 安値 向などから予測)

市況レポート



東京中央卸売市場大田市場で24日、熊本産のメロン「アングレス」の春作が初入荷した。JA熊本うき産で、1枚(5キロ優L A級)高値が4725円と前年の5255円高で取引された。2月の曇天により小玉傾向となったため、特に上位等級品に引きが強かった。入荷は前年より1日遅れだった。終盤の冬作を含めてメロン全体が品薄傾向のため、卸売会社は「引きも強く、ますます

熊本アングレス初入荷 市東

のスタート」とみる。JA熊本経済連の「アングレス」の出荷量は、前年比6%増の2672トを計画する。出荷ピークは4月中旬〜5前後で、「クイ」は4月下旬から「ルス」は5月中旬となる見込み

米国の精米 会社に出資

豊田通商は24日、米国の精米会社サンバレー・ライス(SVR)の持分資本の40%を取得し、同社に出資したと発表し

た。世界的に広がる日本食の風を、米の流通を拡大するの近くSVR社に豊田通商は、扱った高級米を売既存の販売ルとして販路拡大を